

谷崎の愛した京の豪邸

「夢の浮橋」の舞台になった非公開の潺湲亭をご案内いたします。

せんかんでい



写真左上：玄関 右上：書齋 左下：庭から母屋を望む 右下：路地と中門

谷崎文学と名建築にふれる現地講座

谷崎潤一郎が戦後暮らした潺湲亭(石村亭:京都市左京区)を訪ねます。潺湲亭は世界遺産の下鴨神社・糺の森の隣に位置し、築100年を超える閑静な邸宅で、2000平方メートルもの敷地には、池を中心に御殿風の母屋や書齋、茶室などが巡らされています。

谷崎は1949年から1956年まで暮らし、「少将滋幹の母」「新訳源氏物語」「鍵」などを執筆。静岡県熱海市に引っ越した後も愛着は深く、小説「夢の浮橋」の舞台にするほどでした。普段は非公開のため、解説付きでゆっくり見学できる貴重な機会です。名建築をお楽しみ下さい。

日 程 **5月14日(火)**

コ ー ス ①午前10:10 集合 ②午後1:10 集合

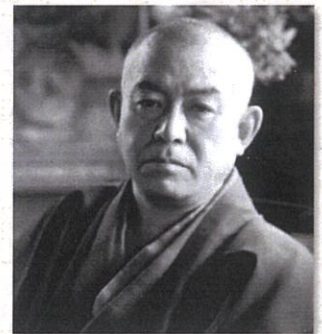
コースの振り分けはこちらでさせていただきます

集 合 場 所 京阪電車 出町柳駅(⑥号出口)

駅から糺の森を通り目的地に向かいます(徒歩約15分)

定 員 各13人(要予約)

受 講 料 3,000円(邸内レクチャー、お土産代含む。交通費は自己負担)



谷崎潤一郎

※参加者の方の個人情報は個人情報保護法及び当館を運営する小学館集英社プロダクション共同体の個人情報取り扱い方針に基づき厳重に管理し、適正に取り扱います

潺湲亭訪問に際するお願い：邸内で撮影された写真や動画をSNSなどに投稿することはできません

協力：日新電機株式会社

申込・お問い合わせ： 芦屋市谷崎潤一郎記念館

〒659-0052 兵庫県芦屋市伊勢町12の15 TEL 0797(23)5852 FAX 0797(38)3244

<https://www.tanizakikan.com/>